

◆◇ J P A 事務局ニュース 〈No.19〉 - 2011 年 9 月 1 日 -----◇◆

〈発行〉 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会（J P A）事務局

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610 号

TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp

☆通常国会閉幕、J P A 国会請願、衆議院で 4 年ぶりに採択！

第 177 通常国会は 8 月 31 日に野田新首相を選出して閉会しました。

最終日に行われた請願審査で、J P A の「難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患の総合対策を求める請願」（衆参両院の全会派議員あわせて 180 人の国会議員を通じて提出、署名総数 90 万数千筆）は衆議院で 4 年ぶりに採択されました（参議院は「保留」）。

採択された請願項目は次のとおり。

1. 医療、福祉、年金、介護、就労支援などを含めた、総合的な難病対策の実現を急いでください。
2. 高額療養費制度の見直しを行い、患者負担を軽減してください。生涯にわたって治療を必要とする難病や長期慢性疾患の医療費助成施策の拡充を行うとともに、当面、難治性疾患克服研究事業及び特定疾患治療研究事業の対象疾患を大幅に拡充してください。
3. 難病・慢性疾患の子どもたちの医療費助成制度の拡充、特別支援教育の充実をすすめてください。特に小児慢性特定疾患治療研究事業対象者の 20 歳からの医療費助成を継続（いわゆるキャリアオーバー問題の解消）してください。
4. 全国どこに住んでいてもわが国の進んだ医療が受けられるよう、専門医療の充実を図るとともに、医師、看護師、医療スタッフの不足による医療の地域不平等の解消を急いでください。
5. 都道府県難病相談・支援センターの活動の充実と患者・家族団体の活動を支援し、難病問題についての国民的な理解を促進するため、全国難病相談・支援センターの設置を検討してください。

☆総合福祉部会で障害者総合福祉骨格提言まとまる

内閣府の障がい者制度改革推進会議・総合福祉部会は、8 月 30 日の第 18 回総合福祉部会で、「障害者総合福祉法の骨格に関する提言」を全員一致でまとめました。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/sougoufukusi/2011/08/0830-1.html>

今後細かな修正点を整理して成案としてまとめられ、親会議である障がい者制度改革推進会議（9月26日を予定）に報告されることとなります。

続報で、提言の中身について順次紹介していきます。

○JPA震災募金について

東日本大震災の震災募金は、多くの疾病団体や難病連での取り組みがすすめられています。JPAでは、当初、重複を避ける意味もあって募金のよびかけを見合わせていましたが、取り組めない団体や「被災地の難病連に直接届けてほしい」と、JPA宛に届いている募金もあります。今年度の活動方針のなかでも明記していますので、あらためて、JPA震災募金をよびかけます。

<振込口座>

*ゆうちょ銀行からの振込みの場合

記号：10010

番号：718821

名前：社）日本難病・疾病団体協議会

*ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込の場合

振込機関：ゆうちょ銀行

店名：〇〇八（読みゼロゼロハチ）

預金種目：普通預金

口座番号：0071882

名前：社）日本難病・疾病団体協議会

* このメールは、BCCにてJPA加盟・準加盟組織、役員等に活動に役立つニュースを不定期に配信します。メールアドレスのない加盟組織については、FAX、メール便にて配送します。送信もれ、または各組織で配信希望の役員がいる場合は、事務局までご連絡ください。

（追加、訂正、削除などは事務局まで連絡をお願いします。）

（JPA事務局長・水谷幸司）